



## 平成26年6月期 第2四半期決算短信[日本基準](連結)

平成26年2月12日

上場会社名 伏木海陸運送株式会社

上場取引所 東

コード番号 9361 URL <http://www.fkk-toyama.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 針山 健二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 浦 俊夫

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日

TEL 0766-45-1111

平成26年3月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	6,897	17.8	227	102.6	152	76.1	22	△84.1
25年6月期第2四半期	5,853	10.6	112	△18.3	86	△39.0	141	57.8

(注)包括利益 26年6月期第2四半期 93百万円 (△61.6%) 25年6月期第2四半期 243百万円 (462.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	1.74	—
25年6月期第2四半期	10.97	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年6月期第2四半期	21,470	8,403	35.4	589.00
25年6月期	21,201	8,350	35.7	587.10

(参考)自己資本 26年6月期第2四半期 7,599百万円 25年6月期 7,575百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年6月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	13,500	8.9	420	1.9	300	△21.1

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期2Q	13,077,000 株	25年6月期	13,077,000 株
26年6月期2Q	174,785 株	25年6月期	174,415 株
26年6月期2Q	12,902,446 株	25年6月期2Q	12,885,129 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年7月1日から平成25年12月31日）におけるわが国経済は、金融緩和や経済対策の効果から個人消費及び設備投資に持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復傾向が続きました。海外では欧米経済に持ち直しの動きがみられるなか、中国をはじめとする新興国経済の拡大は鈍化しており、わが国の貿易面では輸出が伸び悩む一方、輸入が堅調に推移いたしました。

このような事業環境のなか、当社企業グループは積極的な営業活動を推進し、同時に、コスト管理の徹底を推し進めてまいりました。一方、当社グループの取引先である、戸出物産株式会社が、1月に事業を停止し、貸倒れの懸念が強まったことから、5千5百万円の貸倒引当金を営業外費用に計上いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は68億9千7百万円（前年同四半期比10億4千4百万円、17.8%の増収）、営業利益2億2千7百万円（前年同四半期比1億1千5百万円、102.6%の増益）、経常利益1億5千2百万円（前年同四半期比6千5百万円、76.1%の増益）、四半期純利益2千2百万円（前年同四半期比1億1千8百万円、84.1%の減益）となりました。

事業のセグメントの業績は次のとおりであります。

#### 〔港運事業〕

港運事業の売上は、生産活動の緩やかな回復に伴い、原料の輸入や海上コンテナの取扱いが増加し、売上高は26億1千2百万円（前年同四半期比1.7%増）、セグメント利益は2億3千4百万円（同9.9.6%増）となりました。主な輸移入貨物は、ウッドチップ、石炭、コンテナ貨物、オイルコークス、工業塩、原木・製材、アルミ地金、鋼材等であります。輸移出貨物は、韓国、中国、東南アジア向けコンテナ貨物とロシア、中近東向け自動車であります。

#### 〔陸運事業〕

陸運事業の売上は、17億3百万円（前年同四半期比0.8%増）、軽油の価格高騰等によりセグメント損失は1千万円（前年同四半期は7百万円の損失）となりました。主な輸送貨物はウッドチップ、海上コンテナ、石炭、アルミ地金、工業塩、クローム鉱石、石油製品、セメント製品、JRコンテナであります。

#### 〔倉庫業〕

倉庫業の売上は、1億5千5百万円（前年同四半期比3.2%増）、セグメント利益は4千4百万円（同14.6%増）となりました。これは6月に取得した倉庫の稼働によるものです。主な保管貨物は、オイルコークス、巻取紙、製材・集成材、化学薬品、合金鉄、その他の輸出入品であります。

#### 〔不動産貸付業〕

不動産貸付業の売上は、1億6千9百万円（前年同四半期比9.9%減）、セグメント利益は6千7百万円（同3.9%減）となりました。これは、東京五反田の賃貸物件が老朽化に伴い建て替えとなり、賃貸収入が減少するとともに、取り壊しに伴う費用が発生したためです。

#### 〔繊維製品製造業〕

前第2四半期連結会計期間から新たにセグメントに加わった繊維製品製造業の売上は、17億1千3百万円（前年同四半期比109.9%増）、セグメント利益は2千7百万円（同11.7%増）となりました。

[その他]

その他の売上は、8億3千5百万円（前年同四半期比1.0%増）、セグメント利益は1千5百万円（同4.9%増）となりました。これは主に繊維製品卸売業の増収によるものです。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2億6千8百万円増加し、214億7千万円となりました。総資産の増加の主な要因は、有形固定資産が土地等の取得により2億5百万円増加したことによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億1千5百万円増加し、130億6千7百万円となりました。負債の増加の主な要因は、流動負債の未払金1億6千万円、その他流動負債に含まれている未払い費用が1億9千9百万円減少したものの、短期借入金が5億9千3百万円増加したことによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、5千3百万円増加し、84億3百万円となりました。純資産の増加の主な要因は、その他有価証券評価差額金が3千9百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月10日に公表しました平成26年6月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	1,507,141	1,491,123
受取手形及び売掛金	2,729,417	2,914,017
商品及び製品	120,843	114,861
仕掛品	135,746	132,996
原材料及び貯蔵品	130,689	124,933
繰延税金資産	58,744	36,520
その他	273,802	168,703
貸倒引当金	△15,354	△15,064
流动資産合計	4,941,029	4,968,094
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,645,600	6,698,141
減価償却累計額	△4,179,701	△4,262,589
建物及び構築物(純額)	2,465,899	2,435,552
機械装置及び運搬具	4,885,206	4,961,525
減価償却累計額	△3,887,094	△3,970,743
機械装置及び運搬具(純額)	998,111	990,781
土地	8,666,375	8,893,991
建設仮勘定	12,055	54,780
その他	619,301	600,445
減価償却累計額	△370,029	△378,477
その他(純額)	249,271	221,968
有形固定資産合計	12,391,713	12,597,073
無形固定資産		
その他	49,715	55,094
無形固定資産合計	49,715	55,094
投資その他の資産		
投資有価証券	2,237,892	2,309,507
長期貸付金	912,180	895,066
繰延税金資産	250,020	223,188
その他	424,178	482,802
貸倒引当金	△5,166	△60,304
投資その他の資産合計	3,819,104	3,850,261
固定資産合計	16,260,533	16,502,429
<b>資産合計</b>	<b>21,201,563</b>	<b>21,470,523</b>

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,278,561	1,320,603
短期借入金	1,134,600	1,728,200
1年内返済予定の長期借入金	2,054,035	2,048,621
1年内償還予定の社債	260,000	260,000
未払金	259,164	98,940
未払法人税等	34,037	83,000
未払消費税等	30,856	54,524
賞与引当金	50,293	51,290
役員賞与引当金	21,613	8,911
建物等除却損失引当金	46,635	—
その他	688,159	428,487
<b>流動負債合計</b>	<b>5,857,958</b>	<b>6,082,579</b>
<b>固定負債</b>		
社債	640,000	510,000
長期借入金	4,253,215	4,358,153
繰延税金負債	351,121	370,904
退職給付引当金	889,366	873,153
役員退職慰労引当金	158,642	154,452
負ののれん	32,689	15,347
長期預り保証金	371,326	429,685
特別修繕引当金	8,016	10,016
資産除去債務	189,000	186,000
その他	99,922	76,911
<b>固定負債合計</b>	<b>6,993,300</b>	<b>6,984,625</b>
<b>負債合計</b>	<b>12,851,259</b>	<b>13,067,204</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,850,500	1,850,500
資本剰余金	1,367,507	1,367,507
利益剰余金	4,220,865	4,204,316
自己株式	△50,016	△48,640
<b>株主資本合計</b>	<b>7,388,855</b>	<b>7,373,683</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	186,222	225,731
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>186,222</b>	<b>225,731</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>775,225</b>	<b>803,904</b>
<b>純資産合計</b>	<b>8,350,304</b>	<b>8,403,319</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>21,201,563</b>	<b>21,470,523</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	5,853,457	6,897,665
売上原価	5,128,460	6,059,011
売上総利益	724,996	838,653
販売費及び一般管理費		
役員報酬	76,309	81,011
給料及び手当	147,859	166,664
賞与引当金繰入額	3,457	2,519
役員賞与引当金繰入額	13,146	13,008
退職給付引当金繰入額	4,904	7,071
役員退職慰労引当金繰入額	20,383	10,993
その他の人件費	57,237	44,408
減価償却費	42,223	40,987
その他一般管理費	247,248	244,592
販売費及び一般管理費合計	612,770	611,257
営業利益	112,226	227,396
営業外収益		
受取利息	8,868	6,751
受取配当金	7,648	20,043
受取保険金	23,347	—
負ののれん償却額	18,147	17,341
雑収入	20,584	39,988
営業外収益合計	78,595	84,124
営業外費用		
支払利息	54,211	58,120
貸倒引当金繰入額	—	55,137
持分法による投資損失	47,104	42,275
雑支出	3,033	3,691
営業外費用合計	104,349	159,224
経常利益	86,472	152,296
特別利益		
固定資産売却益	9,088	14,189
投資有価証券売却益	10,810	—
負ののれん発生益	216,166	—
その他特別利益	1,756	1,695
特別利益合計	237,821	15,884

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
特別損失		
固定資産売却損	1,275	497
固定資産除却損	128	1,693
投資有価証券評価損	2,720	1,252
その他特別損失	4,182	2,482
特別損失合計	8,308	5,925
税金等調整前四半期純利益	315,985	162,256
法人税、住民税及び事業税	55,219	71,503
法人税等調整額	15,631	39,571
法人税等合計	70,850	111,074
少数株主損益調整前四半期純利益	245,134	51,181
少数株主利益	103,729	28,763
四半期純利益	141,405	22,418

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	245,134	51,181
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112	40,668
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,415	1,830
その他の包括利益合計	△1,303	42,499
四半期包括利益	243,830	93,680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141,440	64,144
少数株主に係る四半期包括利益	102,390	29,536

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	港運事業	陸運事業	倉庫業	不動産 貸付業	繊維製品 製造業	計				
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,556,490	1,525,032	150,157	181,259	816,548	5,229,489	623,967	5,853,457	—	5,853,457
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替高	13,046	165,079	900	6,363	—	185,389	203,138	388,528	△388,528	—
計	2,569,537	1,690,111	151,057	187,623	816,548	5,414,878	827,106	6,241,985	△388,528	5,853,457
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	117,271	△7,548	39,229	70,400	24,757	244,110	15,209	259,319	△147,092	112,226

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行業、レストラン業、繊維製品卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額147,092千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	港運事業	陸運事業	倉庫業	不動産 貸付業	繊維製品 製造業	計				
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,591,320	1,578,839	155,011	163,368	1,713,753	6,202,293	695,371	6,897,665	—	6,897,665
(2) セグメント 間の内部売上高 又は振替高	21,497	124,720	900	5,658	—	152,775	139,850	292,626	△292,626	—
計	2,612,818	1,703,559	155,911	169,026	1,713,753	6,355,068	835,222	7,190,291	△292,626	6,897,665
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	234,031	△10,698	44,954	67,680	27,654	363,622	15,956	379,579	△152,183	227,396

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、旅行業、レストラン業、繊維製品卸売業等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額152,183千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。